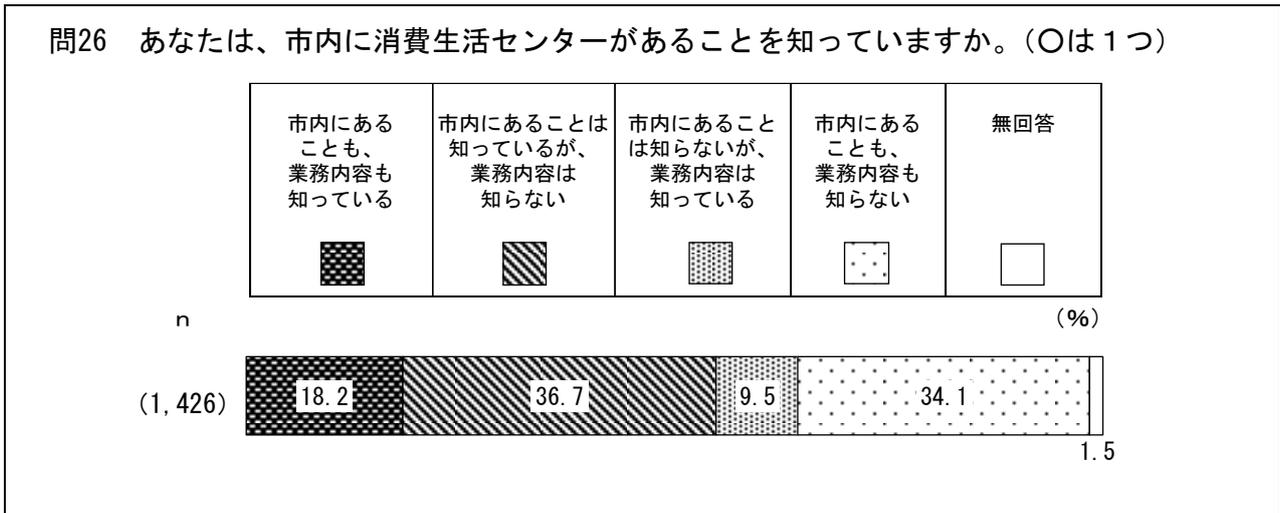


7 消費生活に関する市民意識調査について

(1) 消費生活センターの認知度



市内に消費生活センターがあることを知っているかたずねたところ、「市内にあることは知っているが、業務内容は知らない」(36.7%)が3割半ばで最も高く、次いで、「市内にあることも、業務内容も知らない」(34.1%)と続いている。

<性別・性／年齢別・区別結果>

性別で見ると、「市内にあることは知っているが、業務内容は知らない」は女性が男性より4.4ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「市内にあることも、業務内容も知っている」は女性60～69歳が最も高く、3割に近い。「市内にあることは知らないが、業務内容は知っている」は男性30～39歳が最も高く、2割となっている。

区別で見ると、「市内にあることも、業務内容も知らない」は南区が最も高く、4割に近い。

